

2026  
(令和8)年  
正月特別号

響け念仏 北の大地に

# 本願寺 帯広別院だより

〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL: 0155 (23) 3720  
FAX: 0155 (21) 4989 発行人: 輪番・石川勝紀

別院公式 LINE



## 年頭のご挨拶

輪番 石川勝紀

新しい年を迎えるにあたり、皆さまには  
おだやかにお過ごし頂いていることと拝察  
いたします。旧年中は帯広別院の諸行事に格  
別のご理解とご協力を賜りましたこと、厚  
く御礼申し上げます。

振り返れば、先の見えにくい社会の不安や、  
日々の暮らしの慌ただしさの中で、私たち  
の心は揺れ動き、思いどおりにならない現  
実に戸惑うばかりです。しかし、そのような  
私をこそ「救いの目当て」としてはたらし  
続けてくださる阿弥陀さまの願いにあらた  
めて遇わせていただいたことでありました。  
御恩報謝の念仏を申すところに、迷い  
ながら歩む私を受けとめ、照らし導くみ光  
がはたらいております。

本年も、帯広別院が皆さまにとって心  
のよりどころとなる念仏の道場でありま  
すよう努めてまいります。どうぞ変わらぬ  
ご縁を賜りますようお願い申し上げます。

南無阿弥陀仏

謹賀新年

代表役員輪番

石川勝紀

責任役員

木野村英六

宮下宜則

総代

藤本長章

西田雅喜

高橋猛文

池田奉昭

花房浩一

参与

杉山徳治

桃井直行

肝煎

莊田紀一

梶原雅仁

野村文吾

郷田清紀

岡田幸紀

## 1月のご案内

元旦会 1日9時〈本堂〉 / 宗祖月忌法要15日・16日13時〈本堂〉  
常例布教13日~16日13時〈講堂・本堂〉 布教使 東京教区多摩組明西寺 佐々木了俊師

## 2月のご案内

月例布教 1日・2日13時30分〈講堂〉 / 宗祖月忌法要15日・16日13時〈本堂〉  
常例布教13日~16日13時〈講堂・本堂〉 布教使 東海教区鈴鹿組存仁寺 山田教尚師



# 帯広別院仏教壮年会創立50周年

本江会長によるこびの式典をご報告いただきます。  
会長は会員減少と高齢化を危惧し、  
壮年会の輪をさらに拡げる決意を表明されました。

12月9日 (火) 帯広別院仏教壮年

会は創立50周年の記念式典を本堂にて挙行了しました。

式典には十勝組の組長さんをは

じめ役員の方、帯広別院からは責任

役員・総代の皆さん・教化団体役員

の方に臨席いただき、厳粛に執り行

われました。式典後に記念公演とし

て、十勝組玄誓寺の

上本周司師をお招き

し、皆でお聴聞させ

ていただきました。

また、会場を講堂

に移して祝賀会を開

催しました。

短い時間でしたが、



上本師による記念公演。出席者は心静かに聞き入った



祝賀会で挨拶する春日利信副会長

終始和やかなうちに終えることができたこと、ご出席いただいた方々へ感謝申しあげます。

仏教壮年会は1975年に結成され、それ以来、毎月例会を開催する

と共に、帯広別院の行事に積極的に参加、奉仕活動を継続してまいりました。

また、全国・北海

道教区仏教壮年研修会、十勝組総代会・壮年会同一泊研修会等に参加し、研鑽を積んでおります。

ただ、仏教壮年会の今の悩みは、会員の減少と高齢化です。

毎月16日の15時から例会を開いております。皆さん、是非参加して、一緒に壮年会の輪を広げませんか、お待ちしております。

仏教壮年会 会長 本江英敏

佛壇 佛具 お宮 神具

## 佛壇屋さん

〒080-2469

帯広市西19条南2丁目27番6号

電話 (0155)35-0229 番

営業時間午前10:00～午後18:00まで

定休日：水曜日



## ご法話



### おかげさま

文：津村拓也

少し前に『日本一短い母への手紙——「筆啓上」という本がベストセラーになりました。その中の「お母さん、あなたからもらった物は数多く、返せる物はとてもすくない おかげさま、おかげさま」という手紙にであいました。「おかげさま」という言葉の真ん中に「かげ」とあります。この「かげ」は日向と影の「かげ」で、私の見えないところ、気づかないところという意味です。それに「お」と「さま」という敬語をくっつけて「おかげさま」です。つまり、目に見えるもの、見えないものの全てを含め、あらゆるものに生かされている私であったと目覚め、頷いてゆく。それが「おかげさま」なのです。

「子の母をおもふがごとくにて 衆生仏を憶すれば

現前到来とほからず 如来の拝見うたがはず」(親鸞聖人『浄土和讃』)

と、子どもが母を思うように、私たち衆生が阿弥陀さまの思い、願いを聞かせていただく中に、間違いない親様に出遇える世界があるということを親鸞聖人はお慶びになりました。阿弥陀さまは私たちのいのちをかけがえのない、しかも迷えるいのちとされ、「必ず救おう」と願いをたてられたのです。「慈眼をもって衆生を視ぞなはすこと、平等にして一子のごとし」(源信和尚『往生要集』)。阿弥陀さまの方から、平等に、慈しみ、悲しみの眼でもって、私たちを見守っておられるのです。阿弥陀さまの願いを知らされてみれば、まさに「おかげさま、おかげさま」でありました。

## 1月 オススメの一冊



### 『仏教名言辞典』

金岡秀友 著

講談社 刊(講談社学術文庫)

A6判 448頁 税込1694円

皆さんは日々のくらしの中で、ふと立ち止まりたくなる時があったりしませんか。私はそんな折にこの本を開きます。四十人をこえる名僧たちの言葉に触れると、やさしさに包まれ、静かに呼吸が整っていくのを感じます。時代を超えて大切に受け継がれてきた言葉が、著者・金岡さんの温かな解説とともに丁寧に収められています。読み進めるうちに、自分の思いや悩みとそつと重なり、「ああ、このままでいいのだ」と安心させてくれる場面があるのです。新しい年の始まりに、心に一灯をともしてくれる一冊として、皆さんにおすすめいたします。

(渡邊)

## 永代経懇志ご進納

(ご進納日 11月15日～12月14日)



## 行事報告

## 藤花保育園 おてらたんけん



## 帯広幼稚園 出張除夜の鐘

帯広幼稚園、藤花・鉄南・さくら各保育園では日頃から、僧侶職員による園児向け法話をしています。

12月2日(火)は帯広幼稚園での



園児向け法話に「除夜の鐘のお話」

をし、その後、年長園児が出張除夜の鐘を撞きました。「一年ありがとう」と言いながら撞く園児や、「小さい鐘

なのに大きな音で驚いた」「はじめて撞いた」「お寺の大きな鐘も撞きたい」

「また来よう」と元気よく手を振って

保育園に帰っていかれました。

## おすす払い



12月23日(火)お晨朝に引き続き、おすす払いをしました。まず、ご本尊のお

みぬぐいをし、

それからご門徒

の皆さんと拭き

掃除をしました。

お手伝いく

ださった皆さん、

ありがとうございました。

いました。



など、嬉しそうな声が聞かれました。

帯広別院では12月31日(水) 23時30分

から除夜会・除夜の鐘が勤まります。

一年を感謝し、新年を本堂でお迎えし

ましょう。

仏壇・仏具 各宗派取扱えて居ります  
お宮・神具

**(有)清水仏具店**

帯広市西3条南27丁目16番地

電話(0155)25-3320

(0155)23-7664

FAX(0155)25-3320

仏壇・寺院仏具  
仏像制作  
仏壇・仏具クリーニング

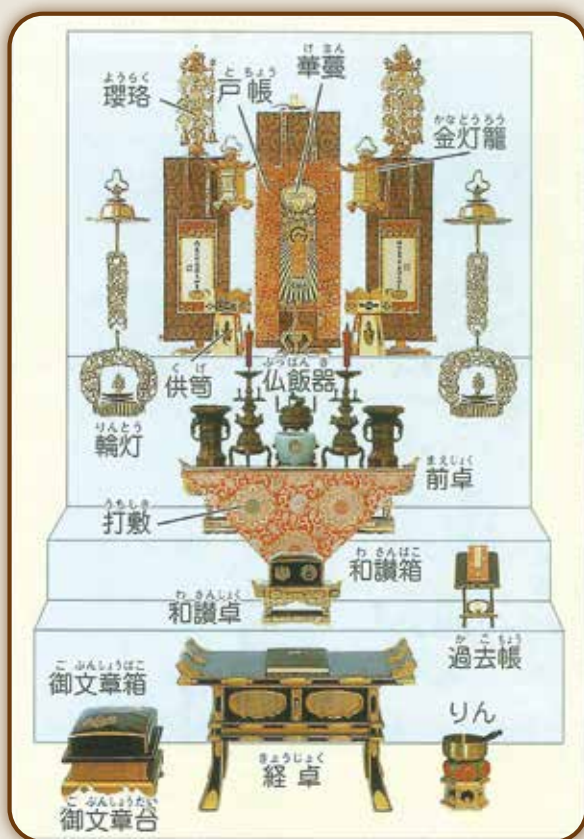
**(有)たち佛具店**

帯広市大通南3丁目8-2

電話 (0155) 27-6155

FAX (0155) 27-6156

## 浄土真宗のお仏壇の 正しいお荘厳のしかた



法要時のお飾り 五具足

新年にあたり、お仏壇のお荘厳（お飾り）を確認してみましょう。位置や向きは正しいですか。足りないものはありませんか。不要なものを置いていませんか。



普段のお飾り 三具足

お荘厳とは仏さまを中心としたお飾りやお供えのことです。

上の図解を見ながら、ご自宅の内仏のお荘厳を確認してみましょう。

- ①まず、お仏壇の掃除と、仏具のお磨きを済ませておきます。
- ②花瓶には、松などを真に季節のお花を挿し交ぜます。
- ③打敷を前卓にかけ、普段は三具足のお飾り、法要時は正式な五具足（花瓶一对、蠟燭立一对）にします。
- ④明かり（輪灯など）を点け、ろうそくを灯し、線香を適切な長さに折って火を点じ土香炉に横に寝かせ、最後にお仏飯をお供えします。

お仏壇をきれいにお荘厳することは、私自身の姿勢を正すきっかけにもなります。

別院にお参りの際は、内陣のお荘厳もじっくりご覧下さい。

令和8年  
年回忌  
早見表

1 周忌…… 令和7年  
3 回忌…… 令和6年  
7 回忌…… 令和2年  
13 回忌…… 平成26年  
17 回忌…… 平成22年

23 回忌…… 平成16年  
25 回忌…… 平成14年  
27 回忌…… 平成12年  
33 回忌…… 平成6年  
50 回忌…… 昭和52年



佛壇・佛具・お宮・神具・数珠修理

# 三輪佛壇店

帯広市西二条南六丁目七番地  
電話 (0155) 23-3584




## お仏壇の丸屋

(有)丸屋仏壇店  
仏壇・仏具・お宮・神具

帯広市東3条南5丁目  
電話 (0155) 23-4644  
FAX (0155) 21-5677

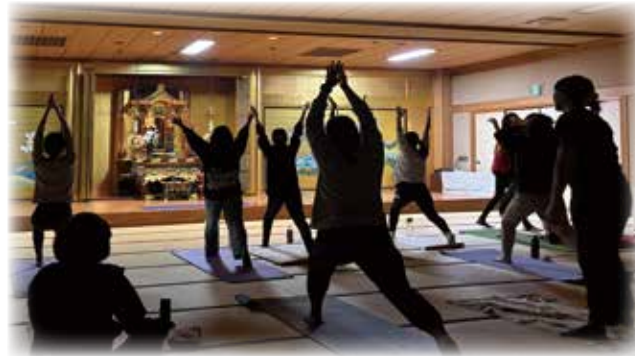


### YBA 報恩講

#### お寺×ヨガ

11月22日(土)の夜、「YBA(仏教青年会)報恩講—お寺×ヨガ」を開催しました。

本堂に似た落ち着いた雰囲気のある会館2階対面所にて、お勤めの後、ヨガでゆったりと体を動かし、ご参加の皆さんからご好評をいただきました。



聞いていました。

姿勢を正し、呼吸を整え、自然と

心身を見つめる時間は、ときに「どっ

こいしょ」「よつこらしょ」の声と

笑い声が聞こえる、楽しい空気に包

まれました。それぞれご自身のペー

スでゆっくりと体

を動かしていくと、

冷えていた体も温

まり、1時間半の

レッスンは終わる

ころには、皆さん

汗ばんでいました。

YBAのテー

マ「ここにきて

会って、話して、

笑って、なんか

元気だた」のように、今後もお寺を

より身近に感じていただけるような

取り組みをしてまいります。

皆さんもお気軽に参加いただ

ければ嬉しいです。

(松原)

自他ともにたい **人我兼利** じんがけんり  
せつな言葉紹介

**六根清浄** ろっこんしょうじょう

仏教青年会

先日YBA報恩講でヨガを体験

したところ「どっこいしょ」と声が

出てしまいました。皆さんも思わず

「どっこいしょ」と言ったことはあ

りませんか。「どっこいしょ」の語源

は「六根清浄」だという説がありま

す。◆六根は眼(視覚)耳(聴覚)

鼻(嗅覚)舌(味覚)身(触覚)の

五官に意(こころ)を加えたもので、

私たちの感覚器官すべてを指します。

◆六根の汚れを取り除き、心身とも

に清らかになることを六根清浄とい

います。◆仏道修行者が山での修行

時に「六根清浄」と唱えていたのが、

音便化して「どっこいしょ」になっ

たのだとか。◆令和8年をむかえた

今年も一年を通して、「どっこいしょ」

と声を出しながら、心身をこ一緒に

清らかにしていきましょう。

(松原)